八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンター わいぐ」
情報誌
2022.3月号 No.76

WAIGU

～もくじ～
●新規登録団体のご紹介……1
●わいぐ活動報告……2~3
●助成金情報…… 4
●スタッフおすすめ わいぐライブラリィ……4
●編集後記…… 4



●新規登録団体のご紹介●

tomoshibi+（ともしびプラス）



代表　**米田 親弘**さん

小児がんをもつ家族どうし手をつないで

■ともしびプラスとは

青森県内唯一の小児がんの子ども・家族のためのサポーター団体です。

これまで青森県内では、小児がん家族会、サロンなどの、療養生活に関する不安や悩みを話し合う場がありませんでした。また、各自治体の支援制度等も、子どもや家族にとって不十分なのが現状です。

ともしびプラスは、小児がんの子どもを持つ家族同士をつなぎ、情報交換等ができるコミュニティ作りを目指し、小児がんの認知向上につながる活動を行っていきます。

■設立のきっかけ

2019 年 5 月、生後 4 か月の娘が「急性骨髄性白血病」と診断を受け、青森県内で闘病生活を送りました。その中で、小児がん支援の輪というのは、全国的にもまだ小さく、青森県内にはそのような団体がないことを知り、当時、心細い思いをしました。

自分たちの経験から、同じ境遇のご家族の方々に少しでも寄り添い、役に立てる存在になれればと思い、2021 年 5 月から「ともしびプラス」の活動を開始しました。

小児がんの子どもたちとご家族の未来を、ともしびで照らすことができればと願っています。







■今後の活動について

新型コロナウイルス感染拡大により、なかなか人が集まる企画やイベント参加などがしにくい状況ではありますが、団体の活動趣旨に共感、参加したいという方とのご縁と和を広げていければと思っております。

私達と一緒に活動したい、興味がある、そんな方はお気軽にメールにてご連絡ください。

■メール：

tomoshibi.plus@gmail.com

わいぐ交流会

八戸市総合福祉会館 2F 多目的ホール

令和３年 12 月４日（土）13:00～16:00

テーマ　出会う喜びを深い絆へ

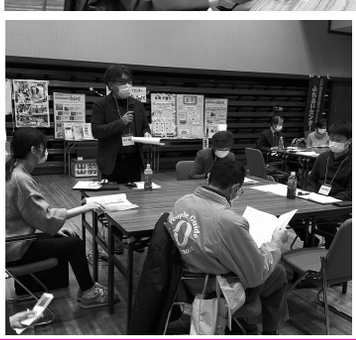
新規登録された、NPO 地域活性化教育支援ネットワークと一葉会の活動紹介の後、ワールドカフェ形式での交流会は、あおもり NPO サポートセンターの柳沢拓哉さんの進行によって行われました。参加者からは、色々な考えや意見が聞けてよかった、異団体との交流の必要性を改めて感じたなどの感想が寄せられました。八戸市ろうあ協会さんと八戸市手話サークルこすもすさんの協力を得て行った、手話コーラスは会場を一段と盛り上げてくれました。













自主事業（SNS を活用した情報発信講座）

八戸市活動サポートセンター「わいぐ」交流サロン

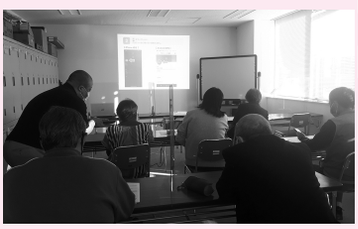
そんな悩みに効く、SNS の種類と効果的な使い方。

●第１回令和３年 10 月 23 日（土）
13：30～15：30
Facebook・Instagram・Twitter って何？

●第２回　令和３年 10 月 30 日（土）
13：30～15：30
Facebook の特徴と使い方を知ろう

●第３回　令和３年 11 月６日（土）
13：30～15：30
Twitter の特徴と使い方を知ろう

●第４回　令和３年 11 月 13 日（土）
13：30～15：30
Instagram の特徴と使い方を知ろう





八戸市社会福祉協議会との共催

わいぐパネル展

（八戸市総合福祉会館１階ロビー）

令和４年１月 24 日（月）～２月６日（日）



出前わいぐ in ラピア

令和４年２月 26 日（土）11:00～16:00

商業施設での出前わいぐは、初めてでしたが、登録団体の方も応援に来て、とてもにぎやかな開催となりました。わいぐを知らなかったとか、子育て支援の団体のことを詳しくスタッフに聞く若いママもいて、対応に追われました。色々な制約のある状況下ですが、登録団体の活動をたくさんの市民に知っていただくことができました。





八戸圏域住民活動促進講座

協働のまちづくり研修会（オンライン開催）

令和３年 11 月 20 日（土）13:30～15：00

●テーマ　**会えない時代の協働のまちづくり**
～現場から見えた今とこれから～

講師　菊池広人氏（NPO 法人いわて NPO-NET サポート事務局長）

オンラインで開催された研修会は、事前に zoom の操作が分からない団体に、わいぐスタッフが操作方法を教えました。初めての試みでしたが、操作方法を習得した団体は YS アリーナの一室を借り参加してくれました。参加者からは、気づかなかったことが沢山あった、持ち帰って活用したい、初めてのオンライン講座はとても有意義だった、講師の話が非常にわかりやすかったなどの感想が寄せられました。





出前わいぐ

町民文化祭「産業展・生活文化展」

（階上町道仏公民館）

令和３年 10 月 30 日（土）、31 日（日）、11 月３日（祝・水）

Zoom 模擬ミーティング

令和4年2月22日(火)、24日(木)、25日(金)

わいぐの利用休止の中、登録団体に役立ててもらえればと、急遽実施しました。参加者は述べ 10 人でやっと慣れてきた、他県で行われる会議などにも参加できるなどの感想が寄せられました。



出前わいぐ

田子ひとくるめや文化祭

（田子町中央公民館）

令和３年 10 月 23 日（土）～24 日（日）



助成金情報

公益財団みちのく・ふるさと貢献基金の「2022年度 教育・福祉・環境助成事業」

【募集の概要】

■助成対象団体等

原則として 1 年以上の継続的、組織的活動実績があり、助成金給付後、活動・研究報告書を提出できる青森県内の個人、団体、NPO 法人及び企業

※過去 3 年以内（2019 年度以降）に当財団の助成金交付を受けていない団体等

※政治活動または宗教活動を目的としない団体

■助成対象活動

(1) 保健・医療・福祉又はそれに関連する活動

(2) 地域の自然科学に関する研究活動

(3) 地域の環境保護に関する活動

(4) 郷土の歴史や文化にかかわる調査・研究活動

(5) 高齢者への生活支援サービス活動

(6) 芸術・文化の育成、保存、伝承、啓発、発信等の活動

(7) スポーツ競技力の向上や、生涯スポーツ普及に向けた活動

(8) その他、目的に基づき適当と判断した事業

■助成対象期間　2022 年 10 月 1 日から 2023 年 9 月 30 日までに実施する事業

■助成金額　必要費用以内（上限 100 万円）

■応募期間　2022 年 4 月 1 日（金）から 6 月 30 日（木）まで

【お申込み先・お問い合わせ先】

公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金

〒030-8622　青森市勝田一丁目 3 番 1 号

TEL：017-774-1179　FAX：017-774-2591

E メール：kikin@michinoku-furusato.or.jp

ホームページ：http://www.michinoku-furusato.or.jp

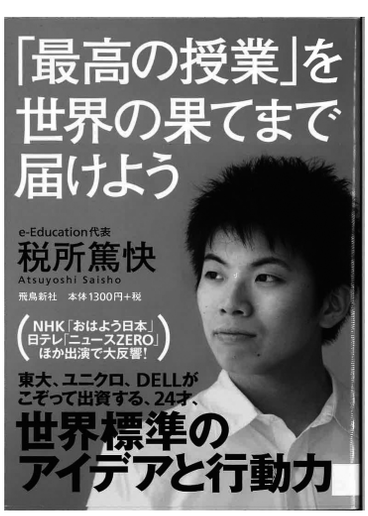
＊申請書はホームページからダウンロードできます。

※その他の助成金情報は「わいぐ HP」でもご覧いただけます。

スタッフおすすめ わいぐライブラリィ

わいぐでは、住民活動に役立つ書籍や冊子を閲覧できます。
また、わいぐ登録団体の会員は借りることもできます。

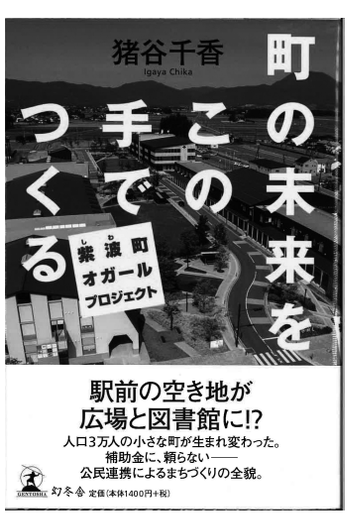
「最高の授業」を、世界の果てまで届けよう



著者　税所篤快
2013 年 6 月 15 日　発行
発行所　株式会社　飛鳥新社

深刻な教師不足に悩む途上国に、ネットや DVD を駆使して「最高の授業を届けよう」と奮闘する大学生の教育改革戦記。かつて偏差値２８の「おちこぼれ」だった彼が、某オンライン予備校での授業で早大生に。その経験を元に、「五大陸ドラゴン桜プロジェクト」を掲げ、貧困や難民問題を抱えるバングラディシュ、ルワンダ、ヨルダン、ガザ地区などで e-Education の活動を展開。彼は、世界各地の教育危機を救うことができるのか？

町の未来をこの手で作る　紫波町オガールプロジェクト

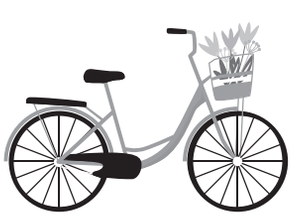


著者　猪谷千香
2016 年 9 月 25 日　第一刷発行
発行所　株式会社　幻冬舎

高齢化・過疎化・財政難に直面していた岩手県・紫波町。今や県内第 2 位の地価上昇率を記録し、駅前エリアには年間 90 万人以上が訪れる町に大変身！従来の行政主導でも、大手企業に頼る開発でもない、行政と民間が連携して進めるまちづくりをどのように実現してきたのか？！その 10 年間の軌跡を追う。「魅力ある町には人が集まり、幸せにつながる」新しいまちづくりの指南書といえるかもしれない。

編集後記

12 月 4 日に行われた交流会は参加者みなさんの笑顔が見え和気あいあいとした雰囲気でした。みなさんの意見を聞くことができ、大変有意義な一日でした。合間に行われた手話コーラスでは、汗をかくぐらい体を動かし、運動不足の私にはとてもステキな体験となりました。(黒澤)



〜編集発行〜
八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンター わいぐ」

●編集●
公募編集員＝松原新一・松林真弓
黒澤美智子
わいぐスタッフ

〒039−1166
青森県八戸市根城八丁目８−155
八戸市総合福祉会館
（はちふくプラザ　ねじょう）３階
TEL　0178−73−3311
FAX　0178−73−3312
Email support@waigu.info
HP　https://www.waigu.info/

facebook
（八戸市市民活動サポートセンターわいぐ）で検索
⇧こちらもご覧ください

⇦わいぐの HP はこちらからも見ることができます。

〜「わいぐ」という名前について〜
青森県南部地方の「私、行く（わぁいぐ）」という方言が元になっています。「市民が積極的に社会の問題に取り組むきっかけの場所になるように」という願いが込められています。

八戸市市民活動サポートセンターふれあいセンターわいぐは、指定管理者企画集団 With you が管理・運営しています。